

2020年度
(2020年4月～2021年3月)
決算の概況

2021年4月28日



目次

2020年度決算のポイント	2
連結損益計算書	3
連結売上高と利益推移	4
連結貸借対照表	5
連結キャッシュフロー	6
連結セグメント別業績	7
連結セグメント別業績推移	8
2021年度の連結業績予想	9

2020年度決算のポイント

- ▶ 2020年度第1四半期においては、新型コロナウイルスの世界的拡大により景気は急減速致しましたが、第2四半期以降は中国経済の早期回復などにより、景気は回復傾向にあります。当社グループでは全般的に取扱量が減少しましたが、販管費の抑制に努めた結果、前年度比減収増益となりました。

・売上高	7,842億円	（前年同期比	△1,519億円、16%減）
・経常利益	41億円	（	” +1億円、3%増）
・当期純利益	22億円	（	” +6億円、35%増）

- ▶ 自己資本比率は19.5%（前年度末実績 18.4 %）

▶ 配当

中間 15円/株実施、年間 50円/株予定
（前年度実績 中間 55円/株、年間 90円/株）

連結損益計算書

(単位:億円)

	19年度	20年度	増減額	増減率
売上高 (2/26 公表値)	9,360	7,842 (7,844)	① △1,519	△16.2 %
売上総利益	299	266	② △34	
販売管理費	△251	△221	③ 30	
営業利益 (2/26 公表値)	48	45 (42)	△4	△7.8 %
営業外損益	△9	△4	5	
経常利益 (2/26 公表値)	39	41 (35)	1	3.1 %
特別損益	△9	△10	④ △1	
法人税等	△14	△15	△0	
当期純利益 (2/26 公表値)	16	22 (20)	6	34.9 %
1株当たり当期純利益	184.03 円	248.24 円		
1株当たり配当金	90.0 円	50.0 円		

前年比増減

①売上高

単体	△1,142
・鉄鋼	△382
・鉄鋼原料	△637
・非鉄金属	△114
・機械・情報	+45
・溶材	△54

海外子会社 △386

(アメリカ△235、タイ△79、シンガポール△36他)

国内子会社 △55

連結調整 +64

計 △1,519

②売上総利益

単体△20、国内子会社△3、海外子会社△11

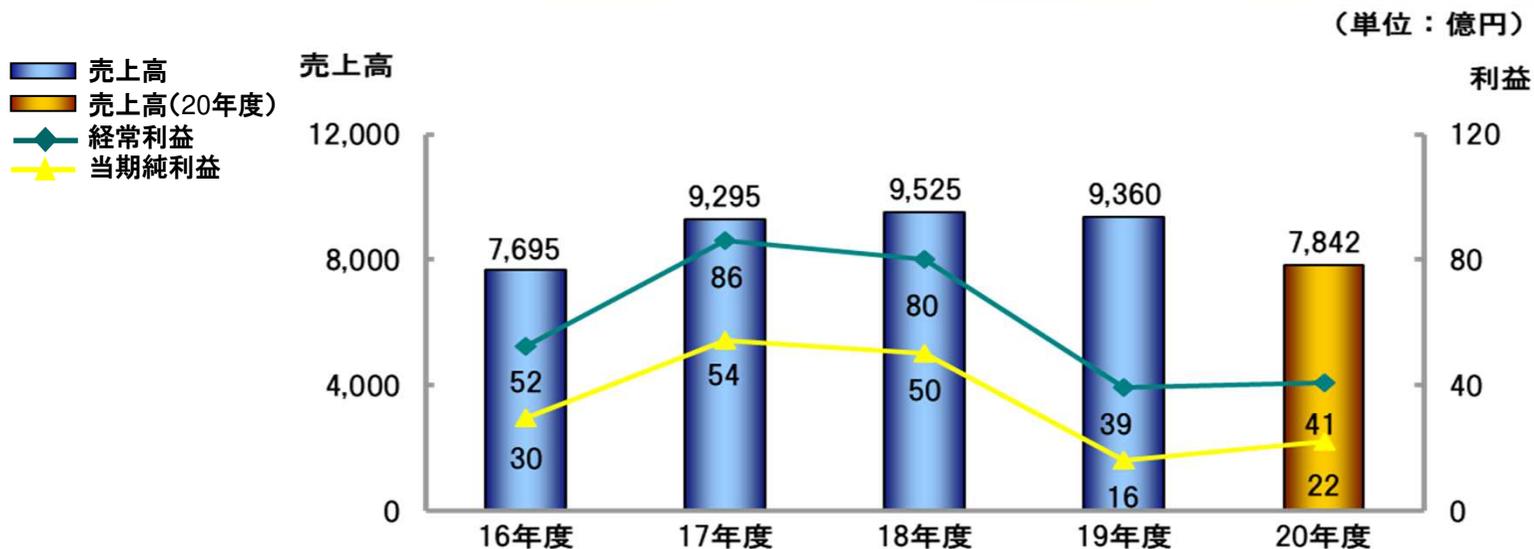
③販売管理費の減少

人件費4、旅費交通費10、交際費3他

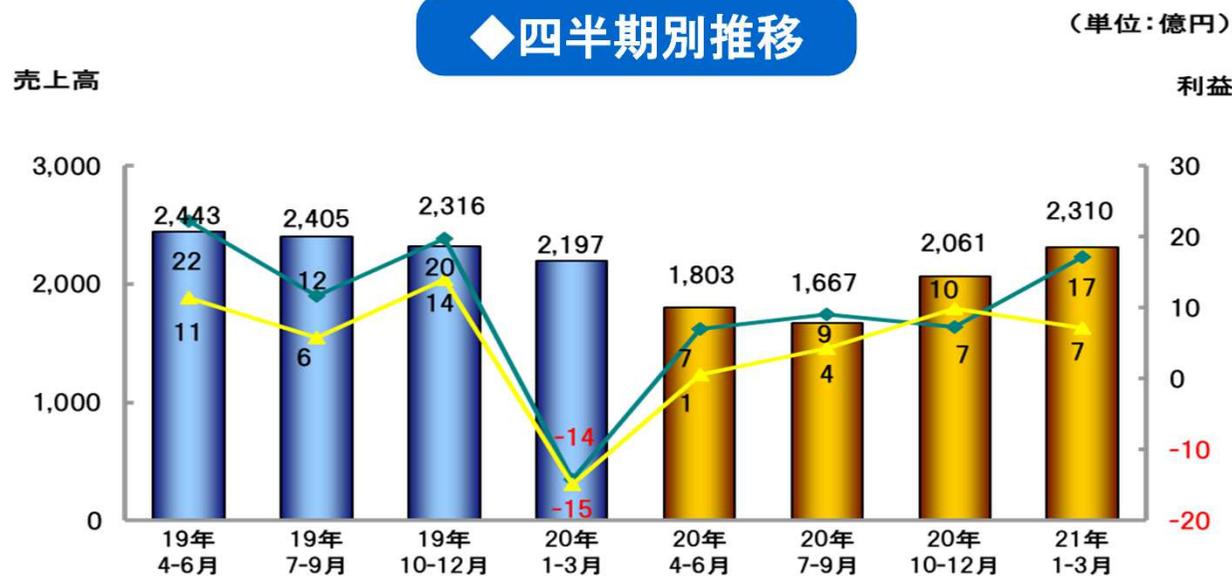
④特別損益

19年度 投資有価証券評価損△9
 20年度 投資有価証券売却益 7、
 投資有価証券評価損△6、
 減損損失△10 他

連結売上高と利益推移



◆四半期別推移



連結貸借対照表

(単位:億円)

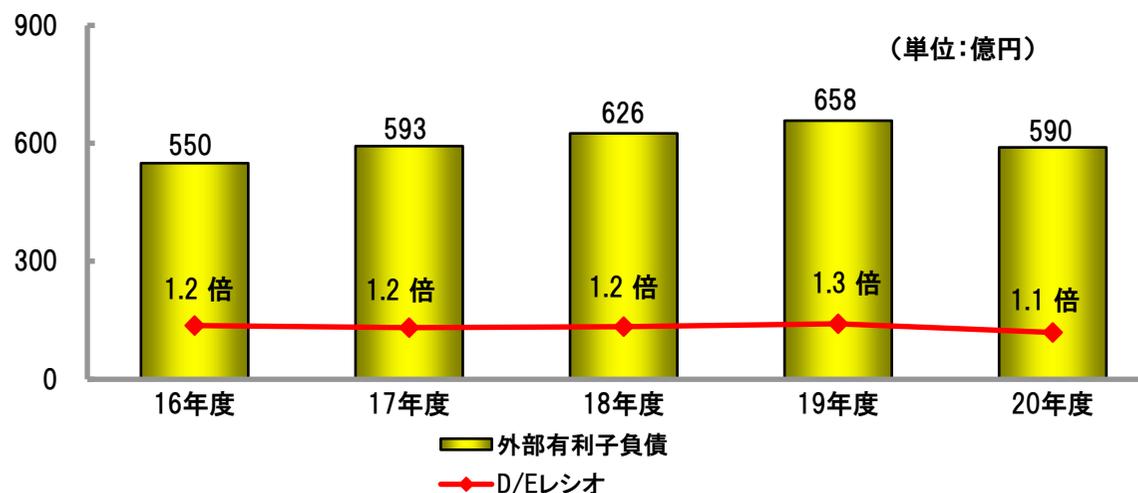
	19年度	20年度	増減額	増減の概要
流動資産	2,412	2,401	△10	売上債権△13他
固定資産	433	461	28	
有形・無形固定資産	103	88	△15	機械設備△14他
投資その他の資産	330	373	43	投資有価証券+24、長期貸付金+11他
資産合計	2,845	2,862	18	
流動負債	2,009	2,023	14	
固定負債	290	268	△22	長期借入金△29他
負債合計	2,299	2,290	△9	
自己資本	524	557	33	利益剰余金+18、評価・換算差額等+16他
非支配株主持分	21	14	△7	
純資産	546	572	26	
外部有利子負債	658	590	△68	
自己資本比率	18.4%	19.5%	1.0%	
D/Eレシオ	1.3倍	1.1倍	△0.2倍	
1株当たり純資産	5,920.3円	6,295.5円		



連結キャッシュフロー

(単位:億円)

	19年度	20年度	増減額
営業活動によるCF	+127	+149	+21
投資活動によるCF	△36	△20	+16
フリーキャッシュフロー	+91	+128	+37
財務活動によるCF	+20	△68	△88
総合キャッシュフロー	+111	+60	△51



連結セグメント別業績

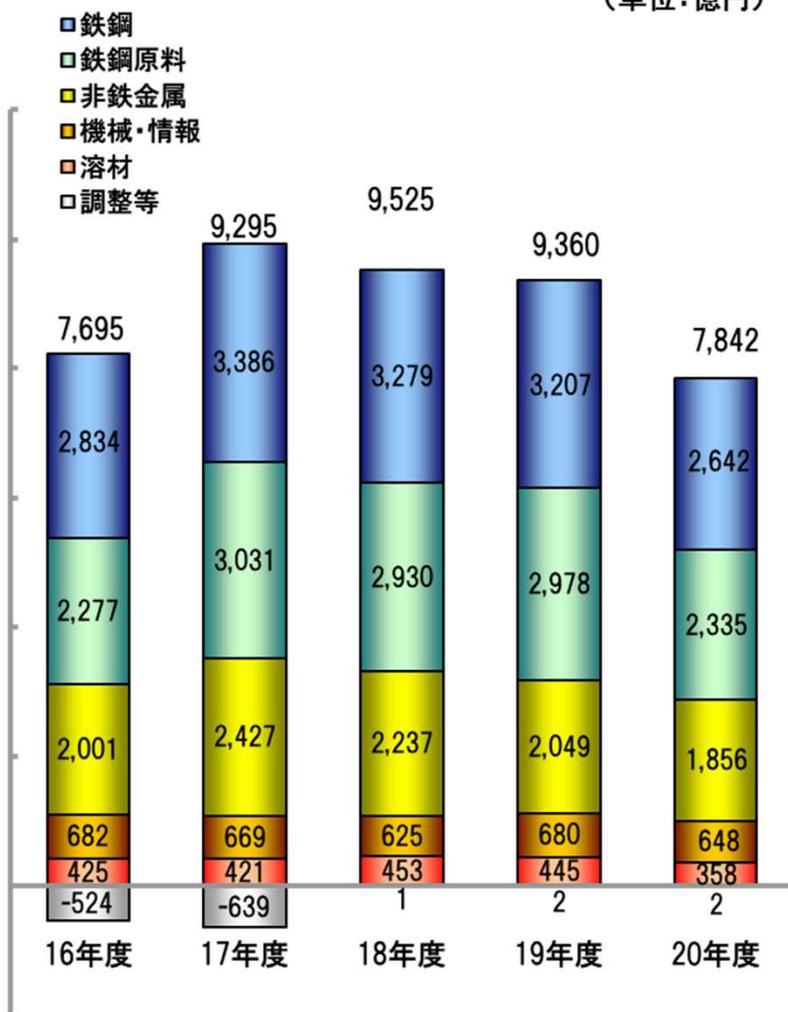
(単位:億円)

		19年度	20年度	増減額	増減率	売上高・利益の状況
鉄鋼	売上高	3,207	2,642	△565	△17.6%	<ul style="list-style-type: none"> ●鋼板：(国内)取扱量・価格共に減。(輸出)取扱量増加だが、価格下落。 ●線材：(国内)取扱量減少、価格横ばい。(輸出)取扱量・価格減。 ●原油価格の低迷に伴う米国エネルギー事業環境の悪化により、在庫の減損など一時的な損失を19年度、20年度に計上。
	セグメント利益	3	6	3	136.1%	
鉄鋼原料	売上高	2,978	2,335	△643	△21.6%	<ul style="list-style-type: none"> ●神戸製鋼所向け輸入鉄鋼原料：取扱量減少・価格下落。 ●冷鉄源：価格上昇。 ●チタン原料・合金鉄：取扱量減少。
	セグメント利益	7	3	△4	△52.5%	
非鉄金属	売上高	2,049	1,856	△193	△9.4%	<ul style="list-style-type: none"> ●銅・アルミ製品：半導体向け銅リードフレーム取扱量増。空調用銅管・自動車向け端子用銅板条取扱量減少。 ●非鉄原料：銅屑・アルミ屑、アルミ再生塊の取扱量減少。
	セグメント利益	14	19	5	32.8%	
機械・情報	売上高	680	648	△32	△4.6%	<ul style="list-style-type: none"> ●機械製品：熱処理炉や建設機械部品の取扱い減少、圧延設備や電池材料の取扱い増加。 ●情報産業関連：HD関連機器は取扱い増加、液晶用材料は取扱量減少。
	セグメント利益	13	12	△1	△5.1%	
溶材	売上高	444	358	△86	△19.5%	<ul style="list-style-type: none"> ●溶接材料：国内は化工機向け横ばい、造船・鉄骨・自動車・建設機械向けで取扱量減少。輸出も減少。 ●溶接関連機器：取扱い減少。 ●生産材料：溶剤原料の取扱量減少。
	セグメント利益	4	1	△3	△61.8%	
調整等	売上高	2	2	0	-	
	セグメント利益	△0	△1	△1	-	
連結	売上高	9,360	7,842	△1,518	△16.2%	
	経常利益	39	41	1	3.1%	

連結セグメント別業績推移

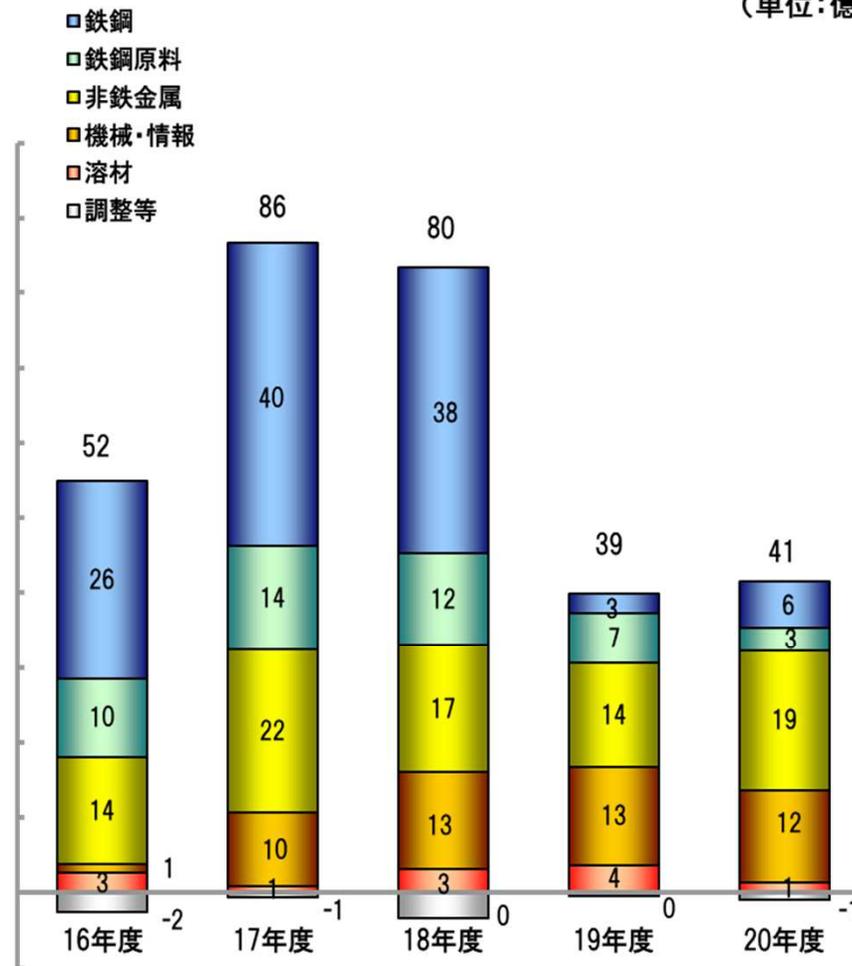
売上高

(単位: 億円)



経常(セグメント)利益

(単位: 億円)



2021年度の連結業績予想

(単位:億円)	20年度	21年度予想	増減額	増減率
売上高	7,842	4,080	—	—
営業利益	45	51	6	14.5 %
経常利益	41	52	11	27.9 %
当期純利益	22	30	8	36.5 %
1株当たり当期純利益	248.24 円	338.80 円		
1株当たり配当金	中間15円、期末35円	中間50円、期末50円		
配当性向	20.1 %	29.5 %		

◆セグメント別

(単位:億円)	20年度		21年度予想		増減額	
	売上高	経常利益 (セグメント利益)	売上高	経常利益 (セグメント利益)	売上高	経常利益 (セグメント利益)
鉄鋼	2,642	6	1,620	24	—	18
鉄鋼原料	2,335	3	410	4	—	1
非鉄金属	1,856	19	1,270	17	—	△ 2
機械・情報	648	12	560	7	—	△ 5
溶材	358	1	220	3	—	2
連結	7,842	41	4,080	52	—	11

※ 22年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記21年度予想の売上高は当該会計基準を適用した数値です。20年度は現行基準の数値のため、増減額および増減率は記載していません。また、調整額等の数値も表記していません。



(注)2021年度の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。